

令和4年7月20日 終業式 校長式辞「心の中の通知票」

- まずはいつものように、相手に伝わる気持ちの良い挨拶をしましょう。桜っ子の皆さん、おはようございます。
- 先ほど、5年生の さん、 4年生の さんから、「1学期を振り返って」の発表をしてもらいました。どちらも、とても素晴らしかったですね。桜っ子のみなさん一人一人にとっても、何事にも一生懸命頑張れた、素晴らしい1学期だったと思います。とても立派でした。
- さて、早いもので、今日で1学期が終了となります。明日から始まる夏休みに、わくわくしている桜っ子がたくさんいることと思います。この後、それぞれの教室で、担任の先生から通知票「あゆみ」が渡されます。1学期に頑張れたこと、成長できたことを確認するとともに、「これからもっとがんばりたいこと」が見つけれられるといいですね。
- 今日は、校長先生からは、「心の中の通知票」というお話をします。教室で渡される通知票「あゆみ」は、皆さんが学習や運動でがんばったことについて、先生たちが書いてくれますが、「心の中の通知票」は誰がつけるのかというと、自分自身です。なぜなら、自分の心の中は、他の誰にも見えないからです。
- まずは、1学期の自分を振り返ってみましょう。振り返ってほしい項目を、校長先生が言いますから、それぞれ、心の中で振り返って、「心の中の通知票」をつけてみましょう。
- その練習を、1つの項目を使ってやってみます。
- まず最初に校長先生が、項目を言います。そうしたら、皆さんはそのことについて心の中で10点満点で点数をつけてみてください。それでは、やってみますよ。
- ① 「相手に伝わる気持ちのよいあいさつはできましたか」
(5秒待つ) どうですか。10点満点で、点数がつけられましたか。

※自分の「心の中の通知票」ですから、点数の基準は人それぞれです。「あいさつ」についていえば、誰にでも聞こえるような大きな声で、笑顔で、相手の目を見てあいさつができる人は、当然自信を持って10点をつけたでしょう。でも、恥ずかしがり屋で、大きな声を出すのは苦手、相手の目を見るのは苦手という人もいます。そのような人も、自分なりの採点でいいのです。

恥ずかしいけど、目を見てお辞儀をすることはできた。大きい声は出ないけど、がんばって「おはようございます」と言えた。自分が精いっぱい頑張った結果なら、それも「10点満点」です。

- それでは、あと5項目、「心の中の通知票」をやってみましょう。1つの項目につき、5秒ほど待ちますので、その間に点数をつけてみてください。
- ② 「話している相手の方を見て、話を聴くことはできましたか」
- ③ 「自分がされて嫌なことを、他の人にしませんでしたか。」
- ④ 「きまりやルールをしっかり守れましたか。」
- ⑤ 「ピン、ペッタン、グーの良い姿勢で学習ができましたか。」
- ⑥ 「目標に向かって、努力を続けることができましたか。」 項目は以上です。

○ どうでしたか。「どの項目が、何点だったか」を、聞いたりはしません。大切なのは、今、みんながやったように「自分で自分を振り返ること」です。もし自分で満足のいかないような点数の項目があったのなら、それをこれから頑張ればよいのです。ちなみに、先ほど言った項目は、すべて、校長先生がこれまでに「始業式」や「朝会」などで、お話ししてきた内容です。そして、そのどれもが、夏休みにも続けられます。ぜひ、意識して生活してみてください。

○ さて、明日から39日間の長い夏休みが始まります。どんな風にして過ごしたいですか。体を思い切り動かしてたくさん遊ぶのも良いでしょう。興味あることをとことん調べてみるのも良いでしょう。夏休みにしかできないことはたくさんあります。色々なことにどんどんチャレンジして、自分を成長させる夏休みにしてほしいと思います。

○ そして、1つだけ、全員に、夏休み中頑張してほしいことがあります。それは、家の中で「自分だけの仕事」を毎日続けてほしい、ということです。おうちの人と話し合っ、無理なくできることを何か1つ決めてみてください。「お風呂をそうじする」「食器をはこぶ」「新聞をとってくる」「雨戸の開け閉めをする」「食事の時に、はしやスプーンを並べる」・・・そういう「お手伝い」を「自分だけの仕事」として続けてほしいのです。やり遂げた時に、達成感とともに、人の役に立つ喜びが味わえます。そして、「ありがとう。」と人から感謝される、そんな人に近づいていきます。ぜひ、頑張ってみてくださいね。

○2学期のスタートは8月29日月曜日です。全員が、怪我や事故なく、楽しい夏休みを過ごして、また桜川小学校で、桜っ子のみなさんと、先生方と、笑顔いっぱいでお会いすることを楽しみにしています。